

授業科目	理学療法研究特別演習 (卒業研究)				
担当者	PT 専任教員			(オムニバス)	
実務経験者の概要					
学科名	理学療法学専攻	学 年	3年～4年	総単位数	3単位
		開講時期	通年	選択・必修	選択

■ 内 容

理学療法研究特別演習 (卒業研究) は、「基礎教育分野の共通部分」と「卒業研究」から構成されている。

【共通部分】

- ・ 臨床医学の知識定着を図る。
- ・ 適宜グループ活動を行い、学習内容、進捗状況、学習成果などの確認や向上に取り組む。

【卒業研究】

- ・ 理学療法に関する研究を通じて、研究手法や現象に対する考察の手順を学ぶ。

■ 到達目標

【共通部分】

- ・ 臨床医学領域の国家試験問題について、頻出項目を把握できる。
- ・ 単純に覚えるといった浅い理解でなく、解剖・生理・運動学の知識を用いて臨床医学を理解することができる。(深い理解：他者へ説明できるレベル)
- ・ 頻出の分野における国家試験過去問に関しては、最低でも8割以上の正答率となる。(知識の定着)
- ・ 理学療法士を目指すコミュニティの一員としての責任を果たす。(主体的で協同的な学習)

【卒業研究】

- ・ 研究手法の基礎を理解し、自ら考察する力を養う。

■ 授業計画

- 第1回 オリエンテーション
国家試験の傾向と学習方法 (学習の意図, 進め方)
- 第2回 呼吸器領域の臨床医学に関する学習 1
- 第3回 呼吸器領域の臨床医学に関する学習 2
- 第4回 呼吸器領域の臨床医学に関する学習 3
- 第5回 呼吸器領域に関する復習・まとめ
- 第6回 循環器領域の臨床医学に関する学習 1
- 第7回 循環器領域の臨床医学に関する学習 2
- 第8回 循環器領域の臨床医学に関する学習 3
- 第9回 循環器領域に関する復習・まとめ
- 第10回 神経系領域の臨床医学に関する学習 1
- 第11回 神経系領域の臨床医学に関する学習 2
- 第12回 神経系領域の臨床医学に関する学習 3
- 第13回 神経系領域の臨床医学に関する学習 4
- 第14回 神経系領域に関する復習・まとめ
- 第15回 呼吸器・循環器・神経系領域に関する復習・まとめ
- 第16回 卒業研究オリエンテーション
- 第17回 文献検索の方法: インターネットを利用した論文の検索方法について学ぶ
- 第18回 先行研究論文の抄読: 各グループで発表を行い、研究テーマや手法について考える ①
- 第19回 先行研究論文の抄読: 各グループで発表を行い、研究テーマや手法について考える ②
- 第20回 先行研究論文の抄読: 各グループで発表を行い、研究テーマや手法について考える ③

- 第21回 研究計画書の作成：規定の書式に従い計画書を作成し、担当教員の指導を受ける ①
- 第22回 研究計画書の作成：規定の書式に従い計画書を作成し、担当教員の指導を受ける ②
- 第23回 研究計画書の作成：規定の書式に従い計画書を作成し、担当教員の指導を受ける ③
- 第24回 研究データを収集する（文献、資料、実験・測定） ①
- 第25回 研究データを収集する（文献、資料、実験・測定） ②
- 第26回 研究データを収集する（文献、資料、実験・測定） ③
- 第27回 研究データを収集する（文献、資料、実験・測定） ④
- 第28回 研究データを収集する（文献、資料、実験・測定） ⑤
- 第29回 収集した研究データを整理・解析する：結果をまとめグループ内で発表する ①
- 第30回 収集した研究データを整理・解析する：結果をまとめグループ内で発表する ②
- 第31回 収集した研究データを整理・解析する：結果をまとめグループ内で発表する ③
- 第32回 収集した研究データを整理・解析する：結果をまとめグループ内で発表する ④
- 第33回 収集した研究データを整理・解析する：結果をまとめグループ内で発表する ⑤
- 第34回 得られた結果について考察する：得られた結果に対する考察をまとめグループ内で発表する ①
- 第35回 得られた結果について考察する：得られた結果に対する考察をまとめグループ内で発表する ②
- 第36回 得られた結果について考察する：得られた結果に対する考察をまとめグループ内で発表する ③
- 第37回 得られた結果について考察する：得られた結果に対する考察をまとめグループ内で発表する ④
- 第38回 論文を作成する：規定の書式に従い論文を作成し、担当教員の指導を受ける ①
- 第39回 論文を作成する：規定の書式に従い論文を作成し、担当教員の指導を受ける ②
- 第40回 論文を作成する：規定の書式に従い論文を作成し、担当教員の指導を受ける ③
- 第41回 研究報告会用のプレゼンテーション資料、配付資料を作成する ①
- 第42回 研究報告会用のプレゼンテーション資料、配付資料を作成する ②
- 第43回 研究報告会：全体で報告会を実施し、他者の発表に対して積極的に質問をする ①
- 第44回 研究報告会：全体で報告会を実施し、他者の発表に対して積極的に質問をする ②
- 第45回 卒業研究論文を完成させる：研究報告会での質疑応答や指摘をふまえて論文を修正する

■ 評価方法

【共通部分】

科目全体の30%に相当する。

共通部分の成績を100点とすると、複数回実施する確認テスト合計で60点、ノート提出の有無と質で40点で採点する。

正当な理由のない欠席や遅刻については減点する（欠席：-4点、遅刻：-2点）ただし、大学への出席後速やかに

届けが提出されればこの限りではない。

また、不良な学習態度（提出物の不備、必要な資料・教科書の準備不足など）は減点（1回につき-4点）とする。小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

【卒業研究】

科目全体の70%に相当する。

ゼミへの参加態度 (20%)、研究報告会での発表状況 (30%)、卒業研究論文 (50%)

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

【共通部分】

授業内で取り扱う内容は基本的に2年生までに学習している内容である。

国家試験合格に必要な知識を自らまとめていく作業を行うため、授業時間内での学習のみならず、時間外での取り組みが必須である。

学習内容はノートなどにまとめていくことを基本とし、それを毎週提出することが必要である。

学習のペースは授業内で説明する。

【卒業研究】

それぞれの研究分野に対する知識が必要となります。ゼミ以外の時間も積極的に活用し、研究を進めるようにしてください。

■ 教科書

書名：病気がみえる vol.2 循環器

著者名：医療情報科学研究所（編集）

出版社：メディックメディア

書名：病気がみえる vol.4呼吸器

著者名：医療情報科学研究所（編集）

出版社：メディックメディア

書名：病気がみえる vol.7脳・神経

著者名：医療情報科学研究所（編集）

出版社：メディックメディア

■ 参考図書

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって

【共通部分】

この科目内容を理解・定着するためには、「基礎解剖学」「神経系の解剖学」「内臓系の解剖学」「生理学Ⅰ～Ⅳ」「生理学実習」「内科学Ⅰ／Ⅱ」「臨床神経学Ⅰ／Ⅱ」などの科目の理解が重要である。

また、「呼吸器障害理学療法治療学」「神経障害理学療法治療学Ⅰ／Ⅱ」「循環器障害理学療法治療学」へとつながる内容である。

【卒業研究】

卒業研究を行うためには、「理学療法研究法」の理解が重要である。